



聖和学院中学校

新コース開設！
2023年度

- ・アドバンストイングリッシュコース
- ・リベラルアーツコース



逗子聖和発 未来共創力



2023年4月 聖和学院中学校 新コース 設置

聖和学院中学校では、生徒の「22歳の夢」に向けて、2023年4月より、①高等学校英語科に直結する「アドバンストイングリッシュコース」、②高等学校普通科に直結する「リベラルアーツコース」の2コースを開校いたします。

アドバンストイングリッシュコース



英語に興味があり、英語をさらに学びたい生徒たちのコースです。ICTツールを主体的に活用し、ネイティブ教員との英語コミュニケーションを楽しみながら、論理的思考力・自由な創造力、問題解決力、チームビルディング等21世紀型スキルを身に付けます。英語の4技能に熟達し、バーチャル留学、模擬国連等をとおり、グローバルな視野を持って国際社会のリーダーとして活躍できる女性を育成いたします。

中学校卒業時には、英検2級、高等学校卒業時には、英検準1級を取得し、国公立・早慶上智レベルの文系/理系を目指します。

リベラルアーツコース



各分野を幅広く学び教養を高めたい生徒のコースです。教科学習だけでなく、地域ボランティア、職業体験、自然科学、文学や歴史や芸術等ジャンルの中から自分の興味のあるテーマを選び、グループワークで情報収集を行い、ICTによる探究活動や発表、意見交換を経てレポートにまとめます。この探究活動が将来学問の礎として、本院の教育理念である「感性豊かな、表現力豊かな女性」となり、「22歳の夢」を実現し、各分野で貢献できる女性を育成いたします。

中学校卒業時には、英検準2級、高等学校卒業時には、英検2級を取得し、MARCHレベルの文系/理系を目指します。

SEIWA 4C LEARNING

01 Communication 【コミュニケーション】

さまざまな人と気持ちや意見を伝え合うことができる力、それがコミュニケーション力です。聖和学院では、国内外のたくさんの方々と交流する機会を通して、「自己肯定感が育まれる学びの空間」を創り上げています。



SEIWA 4C LEARNING

02 Consensus 【コンセンサス】

生徒の多様性を大切にする聖和学院では、「みんながリーダーであり、サポーター」です。授業や行事、部活動、ワークショップなどで進行役やまとめ役を務める経験を積み、コンセンサスをつくっていきます。



SEIWA 4C LEARNING

03 Collaboration 【コラボレーション】

コラボレーションは、ともに課題に取り組み、力を出し合って成果を上げること。学内だけでなく、他県の「高校や自治体とも積極的に共同作業や共同制作に取り組んで、多くの力が結集するすばらしさ」を味わいます。



SEIWA 4C LEARNING

04 Co-Creation 【コ・クリエイション】

南校舎1階フロアにコ・クリエイションプラザ(コ・クリエイションラウンジ、クリエイションスペースなどの複合スペース)を開校しました。SDGsの時代に未来に向けて多様性とグローバルな視点を持ち、創発的なコラボレーションで新しい価値を創り出す場です。



返子聖和発 未来共創力

— To Co-Create the Future —

あなたを未来の主役に…
未来に向けて共に発想・創造する学び

Q 「返子聖和発 未来共創力」とはどんな意味ですか？

A 返子で学ぶ、大切に、貢献する。返子から届ける、発信する。将来の夢実現に向けて、皆で考えることで生まれるアイデアをたくさん出せることを大切にします。「未来共創力」とは、未来に向けて共創(皆で協力して創る)しながら複数の問いや答えを組み合わせで発揮する力を意味します。

Q なぜ、聖和学院に入ると未来共創力が身につくのですか？

A 聖和学院では、認知能力(タスクベース)と非認知能力(モチベーションベース)の両方の能力を伸ばすために教科書外の教育にも力を入れています。「わくわく探究活動」を通じ、地域社会や経済・環境問題について体験するうちに、SDGsへの取り組みを学び、未来を考える力が身につきます。クラスや学年(中学・高校)の枠を超えて、力を発揮することができるようになります。

SEIWA 4C Learning 2040

あなたの「22歳の夢」を
叶えるために

4C Learningは、「あなたを未来の主役に」ことを目指す聖和学院オリジナルの学びのかたちです。

「みんなが主役 毎日主役」

聖和が目指す
非認知スキルが育まれる
学びの環境

令和5年度 中学教育課程表

区分(教科)	1年	2年	3年	合計
必修教科 単位数	国語	5	5	15
	社会	3	4	11
	数学	5	5	14
	理科	4	4	12
	音楽	1.5	1	3.5
	美術	1.5	1	3.5
	保健体育	3	3	9
	技術・家庭	2	2	5
外国語	4	4	5	13
聖書	1	1	1	3
L.H.R	1	1	1	3
選択教科	英語	1	1	2
	国語	—	—	1
	数学	1	1	2
総合的な学習(英語 or 探究)	2	2	2	6
合計	35	35	35	105

※令和5年度入学生の3年間用

学びのスタイル

1 SDGs

2020年度より「Seiwaわくわく探究活動」をスタート。SDGsの17の目標をテーマに、地域とのコラボレーションをはじめとする探究活動に取り組み、課題解決力を育みます。オンラインも積極的に活用し、幅広い活動を続けています。

＋ 地域とコラボして取り組む防災・減災プロジェクト

私たちの街「逗子市」を調べ、地域や行政の方々と協働で防災や減災について考えています。逗子ハイランド自治会のみなさんとともに防災共同活動に取り組み、防災ハンドブック「家族でつくるじぶん防災帳」を作成。多くの方に喜んでいただくことができました。



＋ 国際情勢への理解を深め、未来を創造する模擬国連

出場者が各国の「大使」になって、国際社会に現存する、唯一絶対の正解がない問題の解決策を考える知的な活動です。本校では模擬国連の教育活動を通して、次世代を担う生徒たちが国際情勢への理解を深め、未来を創造する一歩となっています。



学びのスタイル

2 Diversity

聖和学院では、多様性を尊び、公平・公正な対話をするための「安心できる居場所づくり」を大切にしています。ネイティブの先生方が学校生活に多く関わり、その中で、生徒は自然に多様性の大切さを学びます。

＋ ネイティブ教員との交流で多様な文化に触れる

ネイティブ教員は学校にいるのがあたりまえの存在で、英語の授業だけでなく、ふだんから気軽に生徒と交流しています。一緒に茶道をたしなんだり、クッキングを楽しむなど、さまざまなイベントもあり、生徒は日本にいながらにして多文化を体験し、多様性の大切さを実感します。その意識が、誰に対しても、公平・公正に接する姿勢につながっています。



ドイツのメルケル元首相やニュージーランドのアーダーン首相、フィンランドのマリン首相のように、ダイバーシティ時代を象徴する存在として、女性リーダーの活躍に注目が集まっています。聖和学院では、英語教育プログラムの一環として、時事問題や環境問題など、身の回りにあるさまざまな「課題」を、国際人の視点で解決するケーススタディを行います。



学びのスタイル

3 DX

DXとはデジタルトランスフォーメーション Digital Transformationの略語です。進化するデジタル技術を活用し、生徒自身が学校生活をより豊かに、便利にデザインします。オンラインを活用し、世界中の同世代とつながる海外大学留学も楽しんでいます。

＋ 最新のICT環境を整備

校内は全館Wi-Fiを完備。生徒は1人1台のタブレット端末をはじめとしたICTツールを主体的に活用し、英語やプログラミング、プレゼンテーション学習に取り組みます。南校舎1階のラーニング commons にはハイスペックPC (WinとMac) や3Dプリンタ等を備えています。



＋ イングリッシュプログラミング

プログラミング学習はネイティブ教員が担当。英語コミュニケーションを楽しみながら、論理的思考力・発想力・問題解決力・チームビルディングなど21世紀型スキルを身につけます。

＋ パーチャル留学 (オンラインシステム)

いかなるときもグローバルな視点で学習を継続する聖和学院ならではのパーチャル留学。海外に行かなくても、現地に住む学生やホストファミリーとコミュニケーションをはかり、「留学」を体験します。



ワクワクが止まらない
聖和学院
学びのスタイル

自己肯定感が育まれる学びの空間

聖和学院は、生徒の興味の幅を広げるオリジナルプログラムをたくさん用意しています。ふだんの授業よりちょっと先に進んで学んだり、いつもは関心のなかったことに目を向けてみたり、今まで体験できなかったことに思い切って挑戦したり——仲間と一緒に楽しみながらさまざまな経験を積むことで、新しい自分を発見し、将来にもつながる力と自信を培います。

01 聖書の授業と心の教育



「神は愛なり」を建学の精神とする聖和学院では、礼拝・聖書の授業・宗教行事などを中心に、キリスト教精神に基づいた「心の教育」を実践しています。また、聖書の授業では「多文化共生」の感覚と教養を深めることができます。

02 プレゼンテーション



自らのことばで 相手の心を動かそう

どうしたら自分の意見に説得力を持たせられる?——少し難しいと思うような課題も、友だちや先輩、後輩と一緒に頑張ろう! チームで協力して、「よりよいもの」を創り上げることの楽しさを学びます。

03 プログラミング



ラズパイ (Raspberry Pi400) で ネイティブ教員とプログラミング

ラズパイは、学校で子どもたちにプログラミング教育をするために開発された超小型パソコンです。聖和学院では、プログラミング学習をネイティブ教員の指導のもとで行うグローバルIT教育を展開しています。

04 探究活動



「教科書の外」に広がる学びに 触れよう!

今、実社会にあるこの問題を解決するには、理科で学ぶこの知識が大切!それを活用するために数学でこの公式を勉強するのか!というように、「教科書」と「外の世界」が繋がったときの感動は格別です。日々の授業に取り組む姿勢も大きく変わります。

05 ビブリオバトル



自分の好きな本を みんなに伝えたい!

ビブリオバトルはゲーム感覚の書評合戦。ビブリオバトル者がおススメ本を紹介し、みんながいちばん読みたくなったチャンプ本を決定します。「この本の魅力を伝えたい!」と思うことで、読書がますます楽しくなります。

06 マナー講座



美しい礼儀作法を 「自分のもの」にしよう!

1987年英語科設置と同時に国際教育の一環として「JALマナー講座」をいち早く取り入れ、グローバル社会で求められるマナーや立ち振る舞い、あらゆる場面での心づかい等を学んでいます。

ワクワクが止まらない
聖和学院
学びのスタイル

英語の高い育成力&WGL Project (Women's Global Leadership Project)

創立時から英語教育に力を入れてきた聖和学院ならではの授業やさまざまなプログラムで、確かな英語力を身につけます。神奈川県の高校で唯一の英語科では、よりハイレベルな指導を展開。また、海外で働く女性リーダーから将来の自分像を創造する「Women's Global Leadership Project」を導入し、時事問題などを通してクリティカル・シンキング(リサーチ→実践→課題解決)の能力を養います。

イングリッシュキャンプ

夏休みに、ネイティブ教員と5泊6日のイングリッシュキャンプを行います。1日丸ごと「英語漬け」の環境で、コミュニケーション能力を育成し、その集大成として、スピーチコンテストやプレゼンテーションに挑戦。自分で考えたテーマに沿って構成を考え、英語のスピーチ原稿やスライドショーを完成させて発表します。ネイティブ教員と過ごすことで、全員の英語力が格段に上がります。



SEIWA 模擬国連 Summer Camp



夏休みのサマーキャンプのゴールは「SEIWA模擬国連大会」。ディベートやプレゼンテーションを重ねて、論理的思考力や国際交渉力も身につけます。

高い英検取得率を実現

中学3年生時点で69.2%の生徒が準2級以上を取得!英語科の卒業生は全員2級以上を取得し、そのうち25%が準1級を取得しています。



2020年3月
卒業生英検取得状況(英語科)

ICTを活用した相互学習

オンラインを活用した相互学習で、英語4技能(Listening/Speaking/Reading/Writing)の育成強化。ケンブリッジ出版局の教材「Connect」や「Eat Up」を使用して、コミュニケーション力を学びます。



創立者の思いを引き継ぐ英語教育



1942年、当時唯一の女子高等教育機関であった日本女子大学を卒業した創立者の武藤 功は、25歳の若さで緑豊かな逗子の地に、聖和学院の前身である湘南女学院を創設

しました。女性に教育は必要ないといわれていた時代に「女性を人間として育てたい」「将来の人物を輩出する、その種まき人になるように」という信念をもち、国際的に通用できる女性を育成することにすでに熱い想いを抱いていたのです。また、当時より英語の必要性を認識し、さまざまな教育プログラムを積極的に取り入れてきました。1972年8月、武藤功は、ロンドンで開催された第21回世界教育者会議に日本人でただ一人参加しました。この会議において当時英国の教育科学大臣であったマーガレット・サッチャー女史(後の英国首相)と親しく懇談、

教育に対する確信と理想に共鳴することがあり、以来、親交が続きました。そのことが、現在も県内唯一である「英語科」設置のルーツになっています。1949年には聖和学院中学校・高等学校と改称。1987年に「英語科」を設置し、1988年には県内初の海外ホームステイに取り組む「ニュージーランド語学研修」を実施しました。さらに2005年にはコンピュータを利用した英語教育を開始しています。こうして、聖和学院は創立者の想いを引き継ぎ、常に英語指導の最先端を走り続けています。



学習とキャリアデザイン

- 「アドバンストイングリッシュコース」
Advanced English Course
- 「リベラルアーツコース」
Liberal Arts Course

新たな2コース制がスタート!

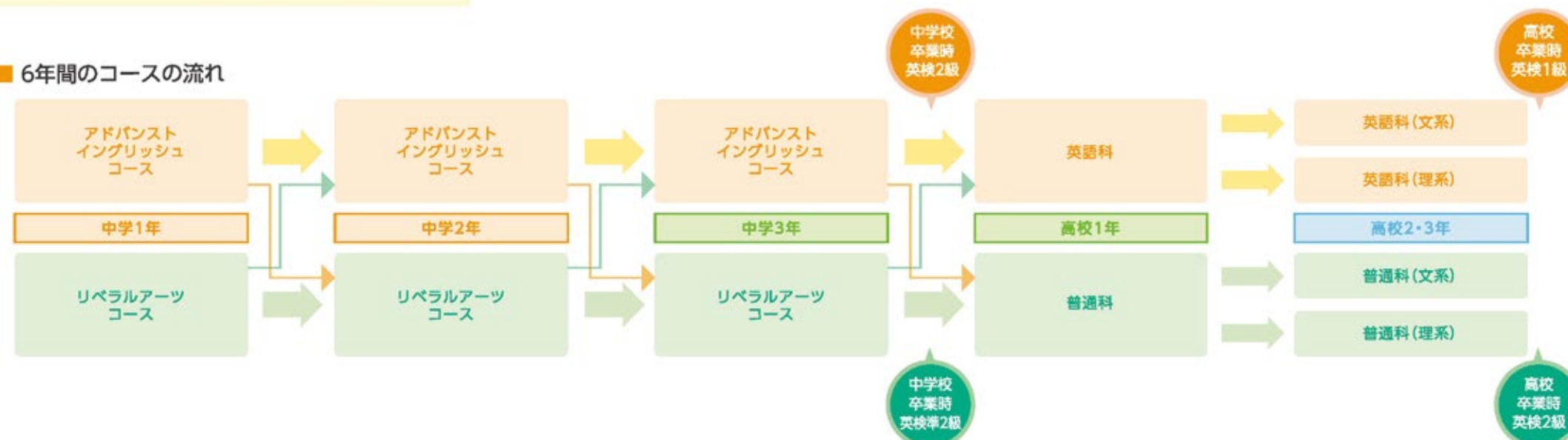


そろえて、中高6年間を2年×3ステージでステップアップしながら、指導を展開します。中学校では学年ごとにコースを変更することも可能です。自分の学習状況や希望を見極めながら高校で「英語科」「普通科」のどちらに進むか考えていきます。



22才の夢の実現へ
志望校進学

6年間のコースの流れ



進路指導

聖和の進路指導のポイントは

●進学ガイダンス

「22歳の夢」を実現させるために、今日は何をすべきなのか—大学入試の担当教員によるガイダンスを通して、自らの「夢」を「目標」に変えていきます。最新の入試情報を知ること、より計画的に受験勉強を進めることができるようになります。

●CIRCLE WISE ~卒業生によるキャリア形成支援企画

卒業生の有志によって企画・運営がなされているプログラム。卒業生との「対話」を軸に、自身の夢をより「自分らしく」考えていくきっかけをつくることを目標とした取り組みです。「さまざまな分野のお話を伺って、視野が広がった」「先輩だから話せる悩みをたくさん聞いてもらった」と生徒に人気の企画です。

2022年3月卒業生 大学合格実績

※在籍28名

東京海洋大学(既卒)	法政大学	東洋大学
横浜市立大学	明治学院大学	東洋大学
早稲田大学	立命館大学	駒澤大学
早稲田大学	立命館大学	東海大学
早稲田大学	立命館大学	東海大学
上智大学	東京農業大学	東海大学
上智大学	武蔵大学	東海大学
明治大学	日本女子大学	神奈川大学
明治大学	日本女子大学	神奈川大学
明治大学	國學院大学	横浜国立大学
青山学院大学	昭和女子大学	東京女子医科大学
立教大学	フェリス学院大学	関東学院大学
立教大学	清泉女子大学	武蔵野大学
中央大学	日本大学	湘南鎌倉医療大学

一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな指導で、聖和学院の生徒はみんな大きく成長します。入学したときには考えもしなかったような進路を獲得する生徒も少なくありません。一緒に夢の実現を目指しましょう!

国公立早慶上智 21.4 %
MARCH 関関同立 28.6 %
卒業生数に対する現役合格率

一人ひとりの「22歳の夢」を応援します

大学を卒業し、社会人として世界に羽ばたいていく—その1年目が「22歳」です。22歳になったとき、自分自身がどのようなかたちで社会に貢献することができるのか。そこから逆算して進路を定め、志望校合格に向けて日々の努力を重ねていくことで、はじめて真の学力が形成されます。

聖和学院では、たしかな進路指導とアクティブなキャリア教育を通して、生徒一人ひとりの「22歳の夢」の実現をサポートします。

SCHOOL EVENTS

いつもあたたかな感動で包まれている聖和学院の学校行事

みんなで力を合わせて創り上げるから、喜びは何倍にもなります。礼拝やクリスマス音楽会のように、祈りとともに自分と向き合う行事もあり、一人ひとりの心に大きな軌跡を残しています。ふだんの授業では得られない「学び」や「気づき」に恵まれ、目を輝かせる生徒の姿が印象的です。



4 April

- 入学式
- 前期始業式
- 実力試験
- イースター礼拝
- 新入生宿泊オリエンテーション(中1)
- 大学キャンパスツアー
- 創立記念日

5 May

- 母の日礼拝
- 授業参観、保護者会
- 模擬試験(高校)
- 前期中間試験
- 英語検定受験
- フィールドトリップ(中学)



11 November

- 感謝祭礼拝
- 実力テスト(全校)
- 点灯礼拝
- 後期中間試験



10 October

- 後期始業式
- 模擬試験(高校)
- プレゼンテーションコンテスト全校大会
- 数学検定受験
- 英語検定受験
- 漢字検定受験
- フィールドトリップ(中学)



6 June

- 花の日礼拝
- JAL マナー講座
- 古典芸術鑑賞
- 体育祭・聖和祭(隔年)
- 大学キャンパスツアー



12 December

- クリスマス燭火礼拝
- クリスマス音楽会
- イングリッシュキャンプ(高2)
- 英語スピーチコンテスト
- SONY プログラミングキャンプ(中学)



7 July

- 進学説明会
- 文理選択説明会
- 宗教講演会
- 漢字検定受験
- イングリッシュキャンプ(高1)



1 January

- 模擬試験(高校)
- 英語検定受験
- 宗教講演会
- 百人一首大会
- フィールドトリップ(中学)



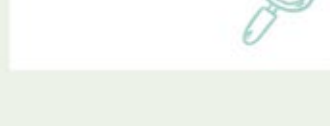
8 August

- 夏期講習
- イングリッシュキャンプ(中学)
- SONY プログラミングキャンプ(中学)



2 February

- 卒業礼拝
- 送別会
- JAL マナー講座
- CIRCLE WISE
- ビブリオバトル全校大会



9 September

- 防犯教室
- JAL マナー講座
- 保護者会
- 前期中間試験
- 球技大会(バレーボール)
- 前期終業式



3 March

- 卒業式
- 後期期末試験
- スポーツフェスティバル
- 後期終業式



1日の流れ

① 8:30 登校

1日のはじまりは明るく爽やかなあいさつからスタート。



① 8:30 礼拝

聖和学院では毎朝、礼拝を行います。HRでは朝、小テストが実施されることもあります。

② 8:40- 午前の授業

8:40から午前の授業が始まります。午前は4時間目まであります。



③ 12:30 昼食

楽しく昼食を取る生徒たちの姿が見られます。

④ 13:10- 午後の授業

昼食後は午後の授業が始まります。午後は5・6時間目まで授業があります。土曜日の授業は午前で終了です。

⑤ 15:00 HR・清掃

午後の授業後はHR・清掃を行います。HRでは先生から明日の連絡などが伝えられます。

⑥ 15:30 クラブ活動

聖和学院のクラブ活動は中学生と高校生が合同で取り組みます。



⑦ 17:00 下校

完全下校時刻は平日 17:00、土曜日は15:00です。授業の予習・復習はもちろんのこと、趣味や面白い事も楽しめます！

CLUB ACTIVITIES

中学生・高校生が合同で取り組むクラブ活動。運動系7・文化系13のクラブが活発に活動しています。それぞれの目標に向かって、ともに助け合い、励まし合い、ときにはぶつかり合いながら大きく成長する、かけがえのない時間を過ごします。
クラスや学年を超えたあたたかな交流が、聖和学院ならではのアットホームな雰囲気をつくっています。



新体操部



調理部



放送環境部



ESS



幼児生活研究部



ダンス部

SCHOOL UNIFORMS

聖和学院の制服は逗子のさわやかな海によく似合う、ネイビーを基調としたセーラー服です。中学生・高校生とも夏服(半袖・長袖)は白、冬服は紺色で、清楚な雰囲気だと好評で、ポイントは、胸元の「S・G」の文字と腕章のロゴマークです。腕章は「愛の広がり」をイメージしたSEIWAの「S」と、Loveの「L」をデザインしたものです。



Summer Uniform

夏服(長袖)



Summer Uniform

夏服(半袖)



Winter Uniform

冬服

UNIFORM ITEMS

季節に応じて、ホワイトまたはネイビーのカーディガン、プリーザー・コート、タイツなどを着用して快適に過ごすことができます。通学カバンはポストンタイプとリュックタイプを選べます。

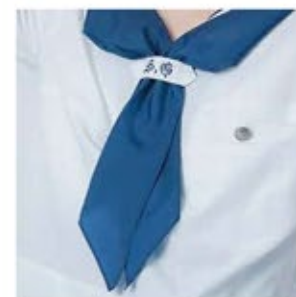
カーディガン(ネイビー)



カーディガン(ホワイト)



スカーフ



通学カバン



通学リュック



運動部

バレーボール部
バスケットボール部
ダンス部
バドミントン部
新体操部
陸上競技部
テニス部

文化部

ESS
調理部
華道部
演劇部
合唱部
パソコン部
美術部
手芸部
吹奏楽部

幼児生活研究部
茶道部
放送環境部
科学部

いろいろなクラブが
そろっているので
誰もが夢中になれる場所を
見つけられます。
先輩や後輩とも仲よくなれて、
とっても楽しいですよ！



全日本バレーボール高等
学校女子選手権大会で
優勝したことがあります！

FACILITIES

聖和学院 中学校 高等学校 電子図書館 SEIWA E-Library



インターネットに
接続された環境であれば、
365日好きな時に
PC、スマートフォン
タブレット端末から電子書籍の
閲覧、貸出、返却をすることが
できます。

校内のあらゆる場所で安定したWi-Fi環境を利用できるよう全館にAPを整備。全教室に電子黒板が設置され、ICTを活用した授業が行われています。また栽培収穫の農業体験を通して自然科学が学べる聖和学院自然教室ではSTEAM教育を行っています。安心・安全への取り組みとして感染症対策をはじめ、災害時・非常時の安全対策を講じています。2022年、「未来共創力」を身につけるための一環として、主体的な学びを実践するコ・クリエイションプラザが誕生。あなたを未来の主役にする教育環境が整いました。



◆正門



◆チャペル



◆コ・クリエイションラウンジ
(ラーニングcommons)



◆クリエイション スペース



◆ラーニングスペース



◆クリエイションカフェ



◆マルチメディアルーム



◆キャリアカウンセリングルーム



◆クッキングスペース



◆茶室



◆体育館



◆聖和学院自然教室(農園)

コ・クリエイションプラザ

ラーニングcommons開設

両校舎1階に「コ・クリエイションプラザCo-Creation Plaza」を開設しました。そのメインとなるのが、自主学習空間「コ・クリエイションラウンジ(Learning Commons)」。

明るく居心地のいい環境で、仲間とともに成長し、未来を創る新しい学びの場です。ハイスペックなIT機器で情報を収集したり、新たな創造に取り組んだり、グループワークをしたりと、生徒は目を輝かせて、いきいきと活動しています。



聖和学院卒業生からの

MESSAGE

英検準一級の取得に 丁寧な指導をいただきました

2022年卒 M.G.さん
早稲田大学 国際教養学部1年

聖和学院は、先生方が生徒ひとりひとりに熱心に向き合ってくださいました。授業でわからないことがあった際には質問をすれば解決できるまで熱心に教えてくださいました。また、英検取得に力を入れている点が大きな強みです。中学生の頃から英検の対策講座や面接対策を丁寧にご指導いただき、高校二年時に英検準一級に合格したことで、大学受験においての大きなアドバンテージになりました。

学院生活は私の大きな財産です

2022年卒 R.K.さん
明治学院大学 社会学部1年

私は姉の通う聖和学院が英語に力を入れていると知り、本校を志望校としました。実際に先生方からのサポートは充実しており、英語検定の受験も機会を逃すことなく挑戦できたことで、大学入試にも繋がる勉強方法を学ぶことができました。また、生徒会活動では、全校生徒のことを考えながらの行動力と協調性を養うことができました。今後の生活に役立つ力と大切な仲間を得た学院生活は、私の大きな財産です。

学院の先生方とともに過ごした クラスメイトは私にとって一生の宝物です

2021年卒 A.K.さん
明治大学 商学部2年

聖和学院で6年間ともに過ごしたクラスメイトは、毎日笑い合ったり様々なことに挑戦したり、時には困難なことがあってもお互いに気づき合い、サポートし合える最高の仲間です。高校時代にはサーリング競技にも力を入れ、全日本420級選手権(80歳)で女子1位となり、フランスで開催された世界選手権に出場しました。大学入学後も体育会ヨット部に所属し、大会に向けて日々練習に励んでいます。

自らの意見を発信する場を通して 積極性を身につけました

2020年卒 N.I.さん
上智大学 文学部3年

聖和学院では、グローバル社会を見据えた幅広い教育を受けられます。毎日の英語学習により言語を学ぶ楽しさを知るとともに、小論文やプレゼンテーションなど自らの意見を発信する場が多かったため、積極性を身につけることができました。また常に自ら挨拶をすることを習慣化し、「JAL マナー講座」では礼儀作法やマナー、言葉遣いを丁寧に指導いただくなど、教養を培いました。

聖和学院で育んだ「22歳の夢」を胸に 充実した日々を過ごしています

2019年卒 M.K.さん
筑波大学 生命環境学群生物資源学類4年

中学校入学時に食品への漠然とした興味がありました。聖和学院では、食品の何に興味があるのか、そのためにどの大学を選ぶべきか、今どういったことができるのか、といったことを考える機会が多くあり、「22歳の夢」を具体的に持つことができました。また、教科ごとにきめ細かな指導を受けられたおかげで、勉学の面白さに気づくことができました。

聖和で鍛えた英語の力は私の宝物です

2016年卒 K.A.さん
国際教養大学 国際教養学部卒業

英語に興味があったので、英語教育に力を入れている聖和学院の英語科に入学しました。聖和学院ではネイティブの先生と会話をしたり、英語でのスピーチやプレゼンテーションに取り組む機会が多く、とても勉強になりました。また、TOEICや英検受験対策講座で一番弱い部分を徹底的に教えてもらい、目標の点数に近づけるよう、ていねいなアドバイスもいただきました。聖和学院で学んだ英語力を活かして夢に一步でも近づけるよう頑張っています。

先生と生徒の距離の近さが 聖和学院の大きな魅力です

2015年卒 M.N.さん
慶應義塾大学 看護医療学部卒業 慶應義塾大学病院勤務

聖和学院には、「いつでも質問できる環境」が整っていました。休み時間や放課後など、職員室前の廊下はいつもいろいろな質問をする生徒でにぎわっていたことが印象的です。先生方は生徒一人ひとりの「苦手なところ」を把握してくださっているのが、安心して教えていただくことができました。生徒同士はもちろんのこと、先生と生徒の距離が近いことが、聖和学院の大きな魅力だと思っています。

まさに英語の力が 私の人生の武器になりました

2012年卒 C.S.さん
慶應義塾大学 環境情報学部卒業 外資系化粧品メーカー勤務

中高生のとき、英語が必要な社会になっていくだろうと漠然と思っていたものが、大学ではより現実味を帯びました。聖和学院での生活は、まさに英語漬けの毎日、受験に向けた英文法はもちろんのこと、ネイティブの先生が担当するコミュニケーションの授業など、総合的な英語力の育成に力を入れる聖和学院で学んだことが、社会人になった今に活きていると思います。

聖和学院独自のプログラム

教育の特色一覧表(中学校)	中学1年		中学2年		中学3年		内 容
	アドバンス イングリッシュ	リベラルアーツ	アドバンス イングリッシュ	リベラルアーツ	アドバンス イングリッシュ	リベラルアーツ	
アクティブラーニング	●	●	●	●	●	●	すべての教科で取り入れています。
ICT端末を用いた授業	●	●	●	●	●	●	すべての教科で取り入れています。
リモート授業	●	●	●	●	●	●	ZOOM等のオンラインツールを使い自宅で授業を受けます。
ICT・情報リテラシー教育	●	●	●	●	●	●	タブレット端末やICT教材の積極活用を通し、モラルやリテラシーを学びます。
ネイティブ教員による授業	●	●	●	●	●	●	英語以外にも様々な活動をネイティブ教員が指導します。
イングリッシュキャンプ	●	●	●	●	●	●	4技能等を高める英語強化講座です。(3日間)
プログラミングキャンプ	●	●	●	●	●	●	グローバルIT教育の講座です。((1日間)
バーチャル留学	●	●	●	●	●	●	海外の大学のオンライン講義を受けたり、現地の学生と交流したりします。
オンラインバディワーク	●	●	●	●	●	●	SDGs等のテーマで現地の学生とディスカッションを行います。
問題解決プログラム	●	●	●	●	●	●	時事問題・環境問題を解決するケーススタディです。
模擬国連	●	●	●	●	●	●	各国の大使として国際社会の諸問題について会議を行います。
プレゼンテーション	●	●	●	●	●	●	様々なテーマでプレゼンテーションコンテストを行います。
ビブリオバトル	●	●	●	●	●	●	公式ルールで行う知的書評合戦です。
イングリッシュスピーチ	●	●	●	●	●	●	様々なテーマで英語のスピーチを行います。
夏期講習	●	●	●	●	●	●	夏休み期間中の集中講座です。
冬期講習	●	●	●	●	●	●	冬休み期間中の集中講座です。
わくわく探究活動	●	●	●	●	●	●	オンラインやフィールドワークで行うより深い学びの取り組みです。
進学説明会	—	—	—	—	—	—	大学入試のガイダンス。
キャンパスツアー	—	—	—	—	—	—	卒業生が企画運営する大学ツアーです。
英語検定試験	●	●	●	●	●	●	校内で実施します。
漢字検定試験	●	●	●	●	●	●	校内で実施します。
数学検定試験	△	△	△	△	△	△	校内で実施します。
世界遺産検定	△	△	△	△	△	△	校内で実施します。

●=全員参加、△=希望者

INFORMATION

説明会&体験授業：算数

9/10 (土) 10:00~12:00

体験授業のみ予約制

説明会&体験授業：国語

10/8 (土) 10:00~12:00

体験授業のみ予約制

入試問題解説会

11/12 (土) 10:00~12:00

説明会&クリスマスイベント

12/3 (土) 10:00~12:00

クリスマスイベントのみ予約制

入試対策解説会

1/7 (土) 10:00~12:00

ACCESS

JR 横須賀線：逗子駅西口より 徒歩 8 分
京浜東北線：逗子・葉山駅北口より 徒歩 10 分



校歌の紹介

校歌
作詞 宮沢章二
作曲 大中正
ニ夢は久木の名のこゝろ
清く根をほり枝を張り
学ぶ心にこゝろを
春をさやかく母の祈り
聖和の園よあふれ
三朝君来についで
わが園のいのちを
聖和の園に集まると
窓の祈りを人の心に
聖和の園よあふれ

聖和学院が逗子の街や海、山、そして人とともにあることが感じられる私たちのお気に入りの校歌です。童謡の「さっちゃん」や「犬のおまわりさん」を手がけた大中正氏作曲のメロディも印象的で、卒業しても、ふとしたときに口ずさみながら、これからも聖和学院の生徒たちはさわやかな風に包まれ逗子から未来へ羽ばたいていきます。



聖和学院中学校

〒249-0001 神奈川県逗子市久木 2-2-1
TEL 046-871-2670 FAX 046-873-5500

<https://www.seiwagakuin.ed.jp> 学校ホームページ▶

